

# 日本支教会連合の「万民夏季キャンプ」終わる

8月13日(水)午後2時、のどかな天気の中で到着礼拝を始め、日本全国支教会の連合キャンプ聖会の幕が開いた。「空間」というテーマで初日の教育が始まり、飯田万民教会のグレース賛美チームと、ソウル本教会のキム・ソングエ伝道師、キム・ジン勸士は特別賛美で神様に栄光をささげた。特に宣教チームの扇の舞は聖徒たちに恵みと感動を与えた。講師イ・ヒソン牧師は、メッセージで父なる神様の空間がどのようなものなのかを詳しく伝え、説教後は悔い改めて聖霊を受けて満たされる時間を持った。

8月14日午前は運動会で、支教会の聖徒たちが一つになる、楽しく幸せな時間だった。運動会の後、野外でバーベキュー・パーティーがあったが、神様はそこを雲でおおってくださり、涼しい中でおいしく食事ができた。

二日目の教育では、モーセの空間について伝えたが、垂れ幕に現れた預言者モーセの姿を見てさらに信仰になった。初日より多くの聖徒が参加してメッセ

ージを聞き、牧者の空間にとどまることにいることが感じられた。ハレルヤ！

今年初めてイエス・キリスト日本聖潔教団総会の主催で開かれた日本支教会の連合キャンプ聖会は、すべての支教会が参加、分担して一つの心で準備したことに大きな意味がある。

参加した聖徒はみな、キャンプの期間中、天気をつかさどって栄えるように導いてくださった神様の愛を感じた。そして、牧者の空間を直接体験して神様に感謝と栄光を帰し、すみやかに霊に入ろうと決心した。

は決して離れない、すみやかに霊に入ろうという望みを持った、と告白した。

また、初日よりさらに熱く悔い改めて聖霊に満たされ、ハンカチの祈りで多くの人がいやされて証した。左半身マヒで車椅子に乗ってきた聖徒は、ハンカチの祈りを受けた後、一人で歩けるようになった。3年間ひざまずけなかった聖徒が、祈りを受けてひざまずくようになり、視力回復、さまざまな痛みがいやされるなど、多くのしるしが現れて父なる神様に栄光を帰した。

教育後、野外でキャンプファイヤーがあった。教育の間中降っていた雨がやんで、キャンプ場の上空だけ雲がなくなって星が見えるほどになり、もう一度牧者の空間の中



## 日本支教会の連絡先

- イエス・キリスト飯田万民教会**  
担任：柳 承吉(ユ・スンギル)牧師  
崔 乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師  
山下 好美 牧師  
安達 真理子伝道師  
住所：〒395-0807  
長野県飯田市鼎切石 3883-4  
連絡先：T) 0265-56-8286  
F) 0265-56-8287  
e-mail: imc@s9.dion.ne.jp  
ホームページ: http://iidamanmin.to.cx/
- 名古屋万民教会**  
担任：時國 みや子 伝道師  
住所：〒465-0014  
名古屋市中東区上菅 1-16  
連絡先：T) 052-774-8874  
F) 052-774-8883  
e-mail: nago\_mhc@maroon.plala.or.jp
- イエス・キリスト山形万民教会**  
担任：チャン・カンソプ牧師  
住所：〒999-3716  
山形県東根市蟹沢 1486-4  
連絡先：T/F) 0237-43-0771  
e-mail: ymgjtk@gmail.com

- イエス・キリスト別府万民教会**  
担任：加藤 勲 牧師  
住所：〒874-0924  
大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
連絡先：T/F) 0977-23-8980  
e-mail: b.manmin@galaxy.ocn.ne.jp
- イエス・キリスト大阪万民教会**  
担任：キム・マルコ牧師  
キム・モニカ宣教師  
住所：〒591-8023  
大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15  
連絡先：T/F) 072-220-5289  
e-mail: osmanmin@hotmail.com
- イエス・キリスト旭川万民教会**  
担任：小松 幹 伝道師  
住所：〒071-8144  
北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23  
連絡先：T/F) 0166-53-0652  
e-mail: asa-mhc@hokkaido.email.ne.jp
- イエス・キリスト東京山端万民教会**  
担任：チョン・ギョングテ牧師  
ソン・アマ宣教師  
住所：〒114-1102  
東京都北区山端新町 2-25-3  
連絡先：T) 03-3809-3326  
e-mail: manjeong17@yahoo.co.jp  
ホームページ: http://tabata.manmin.or.kr/

- イエス・キリスト川崎万民教会**  
担任：平良エリカ 伝道師  
住所：〒210-0818  
神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目  
12-8 グリーンヴァレ 301号室  
連絡先：T) 044-277-0178
- イエス・キリスト松本万民教会**  
担任：伊藤 正明 牧師  
伊藤 時子 伝道師  
住所：〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343  
連絡先：T) 0263-57-0003  
F) 0263-57-0015  
e-mail: mmcto4343@nifty.com
- イエス・キリスト舞鶴万民教会**  
担任：キム・マルコ牧師  
キム・モニカ宣教師  
住所：〒624-0913  
京都府舞鶴市宇上安久 138  
連絡先：T) 0773-75-5656  
e-mail: osmanmin@hotmail.com
- 岡山万民教会**  
担任：時國 裕博 牧師  
住所：〒701-2155 岡山市中原460  
連絡先：T) 086-275-7276  
e-mail: oky\_777@blue.plala.or.jp

- イエス・キリスト八千代万民教会**  
担任：青木 久尚 牧師  
住所：〒276-0045  
千葉県八千代市大和田 670  
連絡先：T/F) 047-483-3587  
e-mail: hisanao@kyi.biglobe.ne.jp
- イエス・キリスト銚田万民教会**  
代表：飯塚 優  
住所：〒311-2102  
茨城県銚田市台濁沢1080-6  
連絡先：O) 0291-39-9177  
e-mail: surf9snow9@yahoo.co.jp
- イエス・キリスト東京万民教会 (東京万民宣教センター)**  
担任：崔 乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師  
リュウ・ウンギョン伝道師  
住所：〒160-0004  
東京都新宿区四谷一丁目8-8  
佐伯千成ビル5-B  
連絡先：T/F) 03-3356-9830  
e-mail: imc@s9.dion.ne.jp
- 横浜鶴見福音教会(協力)**  
担任：前田 實隆 牧師  
住所：〒230-0047  
神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4  
連絡先：T) 045-521-5843

編集発行：万民中央教会・発行人：イ・ジェロク・編集者：ビン・グンソン  
〒152-879 韓国ソウル市九老区九老洞851番地・電話：82-2-818-7042・Fax：82-2-818-7048・www.manmin.org

「起きよ。光を放て。」  
(イザヤ 60:1)

# 万民中央ニュース

民族福音化と世界宣教の使命を持つ万民中央教会  
わたしたちは、聖書の教えと正統的キリスト教の信仰に立ち、新興宗教団体であるエホバの証人・モルモン教・統一教会とはいっさい関係ありません。



手を組んだ子どもの表情が真剣だ。神様の恵みの下、子どもたちは暑い夏も忘れて、信仰ある子どもに育っている。

## 聖書学校 神様の愛で育つ「希望の星の幸せな時間」

GCNで生中継された教会学校(校長:チャン・ソングク牧師)の夏の聖書学校が、7月20日から23日まで、本教会で「空間」(創世記1:1)というテーマで行われた。

メッセージと賛美、聖霊充滿祈禱会、学年別特別活動、レクリエーション、空を見る時間などで神様の愛を感じて天国への望みが加わった。

一方、恵みと感動の「第1回マンミン子ども芸術

祭」は、予選を通った15チームが参加、賛美と踊り、演奏などで才能を思う存分誇って神様に栄光を帰した。大賞は童話を語ったチョン・ジュン(幼稚園、6才)が、金賞は6年生のセビョクイスル(朝霧)チームが受賞した。

また、教師が子どもたちのために心を込めて準備した人形劇「新しく生まれたピノキオ」と「マンミンの子どもたち」も大きな拍手を浴びた。

## 中高生の幸せな夏

神の子どもたちの幸せな夏、教会学校中高生部(校長:イ・ソングク伝道師)の夏のキャンプが、7月28日から31日まで「空間」をテーマに開かれた。

開会礼拝を始め、夏のキャンプは教育、天路歷程、運動会、キャンプファイヤーなど、多様なプログラムで行われた。中高生たちは教育で悟ったメッセージを握って友だちと一緒に祈りながら、神様の力で新しく生まれることを願った。

空に現れた不思議な雲、雲の中から現れた稲光のような光のパノラマ、大きい二重の虹、星の移動など、中高生たちは霊の空間を体験して天国の望みが加

わった。

特に、行事を円滑に進めることと食堂のために奉仕した「ボランティアチーム」と、生徒指導と案内を担当した「生活規律分科チーム」の奉仕は目を引いた。

一方、第15回マンミン中高生賛美祭には予選を通った13チームが参加、キム・ジョン姉妹(中2)が栄誉の大賞を受賞した。

韓国の支教会と海外からも参加した今回の夏のキャンプは、中高生たちが霊的に目覚めて、信仰で望ましい青少年の姿を正しく持ち、神の国への夢とビジョンを大きくする意味深い時間だった。

### 道のColumn 天の通信網

今日、科学技術が発達して、地球の反対側にいる人ともインターネットや電話などを利用して映像で話ができます。いくら遠く離れていても、話をすれば自分の心が表現できるし、相手の心もわかります。

私たちが全知全能の神様に自分の心が告白できる通路があるとすれば、それは祈りです。祈りを通して人生の問題と心の願いをお話しすれば、最も栄えて良い道に導かれます。これは何とも比べられない、神様を信じる者に与えられた特権です。

「しかし、確かに、神は聞き入れ、私の祈りの声を心に留められた。」(詩篇66:19)

文・イ・ジェロク牧師 韓国経済新聞に連載中のコラム「いのちの水」より



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063  
Fax: 82-2-818-7048  
www.manmin.org  
e-mail: ksy8187042@yahoo.co.jp

MANMIN TV

Tel: 82-2-818-7334  
Fax: 82-2-813-7339  
www.manminseminary.org  
e-mail: info@manmintv.org

WCDN  
World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039  
Fax: 82-2-830-5239  
www.wcdn.org  
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

日本各支教会(4連絡先参照)



堂会長イ・ジェロク牧師

### 1. 神様が望まれる信仰は霊の信仰

信仰は宝の中の宝であり、世のすべての問題を解決する鍵です。人の力ではできないことでも、全知全能の創造主の神様にはおできになります。聖書には、不可能が可能に変えられた記述が数え切れないほどあります。神様は全知全能なので、病気とわずらいのいやしも、家庭と事業の問題の解決も、信仰さえあるなら難しくありませんが、重要なのは、必ずまことの信仰がなければならぬということです。

今日、教会に通う人でも、信仰の意味さえよく知らなかったり、救いの確信もなかったり、試練や患難の中で生きていたり、祈っても答えられない人が多いのです。〈マルコの福音書9:23〉に「できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」とあるので、信仰で祈ったなら、必ず答えられなければならないのです。答えられないなら、この時は自分の信仰がまことの信仰であるのか、顧みなければなりません。

〈詩篇37:4〉に「主をおのれの喜びとせよ。主はあなたの心の願いをか納えてくださる。」とあります。また、〈ヘブル人への手紙11:6〉には「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。」とあります。信仰によって神様に喜ばれるなら、神様は願いを何でもかなえてくださいます。神様に喜ばれる方法は、まさに信仰です。

この時の信仰は「まことの信仰」でなければなりません。信仰にも、神様に認められて答えられるまことの信仰、すなわち「霊の信仰」があり、神様が認められない「肉の信仰」があるのです。

### 2. 肉の信仰とは

#### 1) 自分の知識と思いに一致することだけ信じる信仰

このような信仰は救いや信仰の問題と関係がなく、自分が生まれてから今まで学んだ知識と一致する時に信じる信仰です。

ところが、私たちがこれまで正しいと習った知識がみな真理ではないのです。世ではいくら真理と思われていても、歳月が過ぎれば変わることが多いし、国と民族、個人によって、真理と思う知識や、正しいと思う価値の基準が違います。たとえば、昔は、地球は平たい、太陽が地球の周りを回ると学びました。その

当時の人々はこれが真理だと思いましたが、今はこれを真理と信じる人はいません。このように、今まで皆さんが学んだ知識の中でも、あまりにも多くの部分が真理ではないのです。

人は、幼い頃から真理でないものを真理だと教わってきたから、誰かが真理を教えても、自分の持っている知識と合わなければ、それは真理ではないと思います。福音を聞いても創造主の神様が信じられないのは、幼い時から「進化論」という偽りの理論を「真理」だと学んできたので、真理である「創造」を教えても信じられないからです。

進化論は決して真理ではなく、人の思いの中で編み出した誤った理論です。いくら数千万年、数億万年が過ぎてても、魚が陸の動物にはなれないし、類人猿が人になることもできません。しかし、進化論は真理だと堅く信じる人々は「創造主の神様がみことばで天地を創造された」と言うので、それが真理から外れた話だと思わず。

また、ある人々は神様を信じるといながら、聖書を自分の知識と理論に合う部分だけ信じます。世では、何かの材料があってはじめて完成品が出て来るのに、聖書では、何も無い無の状態から神様がみことばで天地万物が創造されたと言っているのです。信じられません。

また、人の力ではとうてい不可能な神の力によるみわざも、納得しにくいのです。ですから、不思議とするしについて記された箇所を読めば、象徴かたとえだと思ったりします。また、「ペテロが水の上を歩いた」と言えば、水の浅いところを歩いたのだと解釈したりもします。「ただ祈りを受けただけでいやされた」と言うので、何かほかの理由があるのでは、と疑います。

しかし、こういう信仰は神様とは関係がないし、救われる霊の信仰ではありません。まことの信仰とは、自分の思いと知識に関係なく、聖書のみことば全体が神様のみことばであり、絶対的な真理である、と信じることです。

#### 2) 変わる信仰

ある人は祈りの答えがすみやかに現れなければ、「神様は本当に生きておられるのだろうか。私が祈ると本当に聞こえるのだろうか」と疑い始めます。するとだんだん恵みが落ちて、過去に信仰で答えられたことや、周りの人々が答えられた証しも、「偶然だったのでは」と

## 信仰の量り(1)

「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。昔の人々はこの信仰によって称賛されました。信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。」(ヘブル人への手紙11:1~3)

疑うようになります。

〈ヤコブの手紙1:6-7〉に「ただし、少しも疑わずに、信じて願いなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。そういう人は、主から何かをいただけてはなりません。」とあります。このように変わる信仰は、答えられないまことの信仰とは言えないのです。〈マルコの福音書11:24〉に「だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。」とあるように、求めるものは何でも、これから「受ける」ではなく、すでに「受けた」と信じなければなりません。

病気の問題もそうです。〈ペテロの手紙第一2:24〉に「キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」とあります。約二千年前にイエス様が苦しみを受けられたので、私たちのすべての罪と悪と呪いを贖われた。これを信じる私たちはすでにいやされたのです。ですから、信仰で祈りを受けたなら、希望に満ちて喜んで感謝します。また、すぐに目に見える証拠がなくても、答えられたという信仰が変わらないとき、本当に答えられるまことの信仰だと認められます。

#### 3) 行ないのない信仰

神様のみことばを知っていることと信じることは別です。みことばは頭ではなく、心で信じられなければなりません。その時は、聞き従う行ないが伴います。たとえば、神様は「人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになる」と言われました。これは健康や物質、すべてのことに当てはまる霊の世界の法則です。

ツァレファテのやもめは、長い日照りの中で、最後に残った一食の糧で預言者エリヤを養いました。命のような糧ですが、神様のみことばを信じたので命令に従いました。その結果、日照りが終る時まで「そのための粉は尽きず、そのつばの油はなくなるならない」という祝福を受けました。(第一列王17章)。

ところが、肉の信仰を持った人々は、こういうみことばを聞いて頭では知っていますが、いざ難しい現実にあうなら、行なえないのです。生活費が足りなければ、十分の一献金や各種の献金を惜しむようになります。神様に蒔けば祝福されると本当に信じるなら、惜しむはずがありませんが、頭でだけ知っているだけで、行ないが伴わないのです。

病気の問題もそうです。何かの病気にかかったとき、神様の力を頭では知っているけれど、心では信じられないので、世の方法に頼るのです。このように信仰のない姿をご覧になると、神様はどんなにもどかしと思われるでしょうか？ アサ王が病気にかかったとき、主を求めないで、医者をもとめて死んだという記述がよくわかります(第二歴代誌16:12-13)。

そのほかのみことばも同じです。聖書には「いつも喜んでいなさい」「すべての事について、感謝しなさい」「絶えず祈りなさい」「あなたの敵も愛しなさい」「仕えなさい」「すべての人と平和をつくりなさい」と書かれています。このようなみことばをすらすらと暗誦しても、頭で知っているだけで行なえない人は、相変らず肉の信仰を持っているのであり、神様のみわざを体験することもできません。

〈ヤコブの手紙2:26〉に「たましいを離れたからだだが、死んだものであるのと同様に、行ないのない信仰は、死んでいるのです。」とあり、行ないのない信仰は「死んだ信仰」と記されています。死んだ信仰では、答えも祝福も受けられないだけでなく、まかり間違えば救われさせないないので、必ず行ないのある信仰に変えられなければなりません。

#### 3. 霊の信仰とは

「霊の信仰」とは、自分の知識や思いに合わなくても、神様のみことばならすべて信じられる信仰であり、一度信じたことは変わらずに信じて、みことばどおり聞き従って行なう信仰です。このような霊の信仰があれば、無から有を創造することもできるし、家庭、職場、事業や健康の問題など、どんな心の願いにも答えられるし、神の力を受けて神の国を実現することもできます。

ところが、各人の信仰はすべて違います。願いを心にいだくだけでも答えられる人もいますし、何日も祈らなければならない人もいます。霊の信仰は、人が願うからといって思いのままに持てるのではなく、神様が与えてくださらなければなりません。

それなら、どうすれば霊の信仰が受けられるのでしょうか？ それさえわかれば、どんな心の願いでも、答えと祝福の道がバツと開かれるのです。霊の信仰を受ける方法については、次に説明いたします。



## トンボで幸せなこの頃・・・



全世界に約5000種類が生息、韓国に約100種類いるトンボは、おにも蚊、ハエなどの害虫を食べる。すぐれたハンターであり健啖家で、一日に200匹の蚊を食べてようやく満腹するという。

最近、マンミンの聖徒たちはトンボで幸せなひと時を過ごしている。韓国、日本、アメリカ、アフリカなどからかわいいトンボが現れたという知らせを聞くからだ。教会や職場、庭や家の中など、どこでも聖徒の周りを飛び回り、手

や額、鼻など体のあちこちにとまって楽しませてくれる。夏になれば蚊で苦勞したことも昔の話だ。

トンボが群れて飛んでいるのを見ると、自然に微笑む。童心に帰るのだろうか？ すばしこいトンボを捕ろうと一日中近所を歩き回っても、たいして捕れないまま日が暮れて家に帰った覚えが一度くらいはあるだろう。しかし、今、マンミンの聖徒たちにトンボはととても親しくてうれしい存在になった。今年7月9日には、2時間ほど太陽の上空からトンボが降り注ぎ、聖徒たちに喜びを与えた。その後、教会の上空やあちこちで数百、数千匹のトンボの群れが目撃されている。このような事実をどう説明できるだろうか？

聖書の出エジプト記を読むと、モーセがイスラエルの民を導いて葦の海(紅海)を渡る場面がある(出エジプト14章)。神様が一晚中強い東風を吹かせて葦の海を分けられたが、これは両側から風が吹いて海の水を左右に分けて壁のようになったのだから、非常に強い風が吹く時に可能である。すると、子どもと老人を含めて200万を超える人と家畜が海の真ん中を通ってみな渡るまで、ものすごく強い風が吹き続いたということだ。

### アフリカケニアでの働きの証し

MISSION

### ハンカチの祈りで受けた祝福

## みごもりと安産

子宮の卵管に問題があって子どもができなかった聖徒が、神の力のハンカチ(使徒の働き19:11-12)でみごもり、この前かわいい女の子を産みました。

28才のニコレ聖徒は、2001年に初めての子どもを産んでから卵管に異常が生じ、片方を切除した後、約7年間子どもができませんでした。

これを知ったムヒンド長老が、聖潔の福音と堂会長イ・ジェロク牧師に現れる神の力について伝えました。また、使徒パウロの身に付けている手ぬぐいや前掛けをはずして病人に当てると、その病氣は去り、悪霊は出て行ったように、堂会長先生に祈りを受けたハンカチで祈る時に現れる御力のわざを伝えると、夫婦は信仰を持ちました。

2007年7月、私がコンゴ民主共和国ゴマの牧会者セミナーとハンカチ集会の講師として行ったとき、ニ

コロ聖徒は子どもができるように祈ってほしいと言いました。私は神の力のハンカチを当てて、みごもりの祝福のために切に祈りました。

8月、ニコレ聖徒は病院に行って診察を受けると、妊娠していました。

ところが、いよいよ出産になった今年6月、検診を受けましたが、子どもの首にへその緒が巻きついて危険だから、ナイロビの大きい病院に行って手術しなければならぬということでした。ナイロビの病院でも、同じ診断結果が出ました。

この時、ニコレ聖徒は神様からみごもりの祝福を受けていたので、ナイロビ万民教会に来て私からハンカチの祈りを受けようと思いました。祈りを受ければ手術をしなくても子どもが産めるという信仰を見せました。

台風が通ると家や建物も吹き飛ばしてしまうのに、どのようにしてモーセとイスラエルの民は海の水を分けた強い風の中を歩いて行けたのだろうか？

私たちの目に見えない霊の空間を開いて、神様がモーセとイスラエルの民をその空間の中に置かれたなら、これはいくらかでも可能である。たとえば、分かれた海に透明な「ガラスのトンネル」が置かれて、その中を通ると思えば、もっと理解しやすいだろう。

神様は、モーセを信じて行くイスラエルの民を、公義によって一瞬霊の空間に入れて、強い風の中を悠々と歩いて行けるように働かれた。しかし、後を追っていたエジプトの軍隊は、モーセを信じてついでにはないから、霊の空間に入れなかった。つまり、肉の空間に止まっていたから、神の力が体験できないで、葦の海に水葬されてしまったのである。

ヨシュア記3章14-17節に、イスラエルの民があふれるヨルダン川を渡ろうとするとき、箱をかつく祭司たちの足が水ぎわに浸ると、上から流れ下る水ははるかなかたのところで、せきをなして立ち、塩の海のほうに流れ下る水は完全にせきとめられて、かわいた地を渡ったことも、同じ理屈である。

その他に、東方の博士がイエス様のもとに導いた星(マタイ2:9)、エジプトに下したいなごの災い(出エジプト10章)、荒野のマナとずら(出エジプト16:13-14)、王の車の前を走ったエリヤ(第一列王18:46)、エチオピアの宦官に福音を伝えて主の霊に連れ去られたピリポ執事(使徒8:39)など、神様は霊の空間で言葉で表せない御力を現された。

きのうもきょうも同じ神様は、今日も交通事故で車が廃車になっても骨一本折れないで守られる聖徒たち、現れては巻き込まれるように消える雲、星の移動とトンボなどで、ご自身が生きておられることを証ししておられる。

無から有が創造され、不可能が可能になるみわざは、聖書の中だけでなく、神様を完全に信じて信頼する子どもたちにとこしえに続くだろう。



それで私はハンカチで祈りました。ニコレ聖徒は手術を受けなくても6月8日、かわいい女の子を産んで、3週後の6月28日、ナイロビ万民教会に赤ちゃんを抱いて来ました。おいしい料理を作って来て、感謝の心を伝えました。

このようなことは神の力のハンカチでいつも体験していることですが、そのたびに堂会長先生に現れる神の力はまことに驚きです。すべての感謝と栄光を神様にお帰しします。

文: チョン・ミンホ牧師(ケニア・ナイロビ万民教会)